

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	15	124560	災害用物資備蓄事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		54,791	8,942		-45,849
財源内訳	国費	45,791	0		-45,791
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	9,000	0		-9,000
	一般財源	0	8,942		8,942

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
防災・危機管理体制の充実を図る。

事業開始の背景・経緯
全国的な地震災害や水害による災害対応の課題をふまえ、災害用物資の備蓄について検討を行い、災害時の応急活動ができるよう非常食や災害用トイレの整備を開始した。

事業概要
災害用物資の備蓄計画に基づく備蓄 2,027千円 避難所等で使用する災害用物資の備蓄・配備 災害用物資備蓄環境整備業務委託 658千円 備蓄品防災倉庫購入費 2,921千円 災害用物資備蓄事業費（繰越明許費）3,336千円

担当部署	03250000 総合政策部 防災危機	担当課長	平野 克則
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
1 災害用物資の備蓄計画に基づく備蓄 2,027千円 （内訳）消耗品費2,026,357円 アルファ米5,200食（アルファ米4,450食、お粥750食） 1,012,716円 水2,820リットル 253,800円 ブルーシート250枚 280,500円（目標量1,050枚/1,050枚） 粉ミルク11,260g 32,844円 液体ミルク768本 157,593円 哺乳瓶（使い捨てタイプ）50本 16,500円 避難所用消耗品 272,404円
2 災害用物資備蓄環境整備業務委託 658千円 毎年EF9001S（30台）とEF25001S（14台）の半数ずつ点検を実施 EF9001S（15台）+EF25001S（7台）=22台 598,300円×1.1=658,130円
3 備蓄品防災倉庫購入費 2,921千円 12施設（花北振興センター、太田振興センター、内川目振興センター、好地振興センター、石鳥谷生涯学習会館、八幡振興センター、新堀振興センター、土沢振興センター、谷内振興センター、八幡小学校、湯本振興センター、大瀬川振興センター） 2,655,600円×1.1=2,921,160円
4 災害用物資備蓄事業費（繰越明許費） 3,336千円 指定緊急避難場所で使用する物資を購入 10節 屋外用コードリール 6,160円×35台×1.1= 237,160円 17節 インバーター式2Way発電機 80,500円×35台×1.1=3,099,250円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	15	124590	避難対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		31,824	30,769		-1,055
財源内訳	国費	0	4,024		4,024
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	24,000	11,000		-13,000
	一般財源	7,824	15,745		7,921

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

防災危機管理体制を充実し、自然災害をはじめとする危機に対応する。

事業開始の背景・経緯

近年、全国各地で大規模な自然災害が多発していることから、平時における市民の防災意識を高め、災害時における迅速かつ確実な避難行動を促すため、ハザードマップの周知や防災通信環境の整備、避難所の環境整備が急務となっている。

事業概要

避難行動要支援者名簿の整備 5,507千円 ...避難行動要支援者名簿の更新と支援関係者への提供等  
 ハザードマップの作成・配布 8,655千円 ...ハザードマップを作成し対象地区へ配布  
 指定緊急避難場所看板設置業務 4,036千円 ...指定緊急避難場所の周知と誘導に必要な看板の設置  
 防災拠点等環境整備業務 11,253千円 ...災害FM放送設備等にかかる経年劣化による機器更新  
 FMアンテナ設置補助金 0千円 ...FM難視聴世帯における屋外アンテナ設置のための補助金  
 災害時の対応 117千円 ...災害時の避難者食材代と緊急避難場所（文化会館）の開設時ポイラー代  
 LPガス非常用発電機ガスパルク調整器交換 103千円 ...調整器の有効期限を迎えることによる更新  
 地域振興無線機の更新 1,098千円  
 現在使用中の無線機の交換用バッテリーの生産終了に伴い、購入済みバッテリーで対応可能な期間の内に更新するもの

担当部署	03250000 総合政策部 防災危機	担当課長	平野 克則
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 1 避難行動要支援者名簿の整備 5,507千円  
 避難行動要支援者名簿窓口等業務に係る費用 5,408千円  
 報酬4,460千円(2人)、需用費192千円、役務費600千円、使用料及び賃賃料156千円  
**【概要】**  
 (1)避難行動要支援者への条例制定の周知  
 (2)4月、10月の名簿更新に伴う新規対象者へ制度の案内  
 (3)避難行動要支援者名簿の支援関係者(自主防災組織等)への提供等  
 避難行動要支援者管理システム改修業務委託 99千円  
**【概要】**  
 ・主な改修点  
 自主防災・行政区長のための出力機能の追加、 要支援者名簿に自主防災を追加
- 2 ハザードマップの作成・配布 8,655千円  
 需要費8,624千円 委託料31千円  
**【概要】**  
 市民の防災意識を高め、災害時の避難が迅速に行われるよう、ハザードマップを作成し、広報の配布時に合わせてハザードマップの対象地区に配布する。(大迫・石鳥谷11図郭)  
 ・ハザードマップの規格B2(1/12500) 両面4,380枚
- 3 指定緊急避難場所看板等設置業務 4,036千円  
 ・指定緊急避難場所誘導看板設置業務 3,960千円  
**【概要】**  
 指定緊急避難場所の周知及び基幹道路からの誘導に必要な避難誘導看板6基を設置する。  
 「石鳥谷生涯学習会館」「石鳥谷小学校」「笹間第一小学校」  
 「笹間第二小学校」「成島振興センター」「浮田振興センター」  
 ・防災マップ移設業務 76千円  
**【概要】**  
 イトーヨーカ堂バス停に設置している防災マップについて、同バス停の改築により設置場所が確保できなくなったため、花巻駅西口へ移設
- 4 防災拠点等環境整備業務委託料 11,253千円  
 災害FM放送設備更新業務委託 348千円  
**【概要】**  
 災害FM送信所(胡四王送信所)のUPS(無停電電源装置)のバッテリーについて、経年劣化による故障を防ぐため事前に機器の更新を実施する。  
 大迫中継局異常通報装置設置業務227千円  
**【概要】**  
 災害FMの中継局である大迫中継局は、設置当初、電話回線が接続されていなかったことから、回線が敷設されている展望台の麓にラジオと無音検知器を設置して、故障の監視としていた。しかし、中継局の機器の状態がモニターできないことから、異常の通報から原因特定までに時間を要している状態となっていた。今般新たに携帯電話回線を使用して異常通報装置の設置が可能となったことから他の中継局と同様に設置するもの。

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	15	124590	避難対策事業費

事業手法の詳細 2

大迫中継局同軸避雷器交換業務 208千円

【概要】  
中継局の落雷の影響から機器を保護する避雷器が故障している状態であることが判明したことから交換する。

胡四王送信所・大迫中継局エアコン設置業務 570千円

【概要】  
災害FM放送における重要施設である送信所・中継局内の機器は常時30℃前後に保たれることが望ましく、50℃を超えると暴走し故障する恐れがある。現在は温度を一定にするため換気扇を設置しているが、昨今の夏季の気温上昇により50℃を超える日が増えているため、暴走による機器の故障の恐れが増大している。適切な耐用年数まで運用を継続するため、北上市のFM等と同様に一定温度で起動するエアコンを設置するもの。

J-ALERT自動起動機更新業務委託 9,900千円

【概要】  
現在使用しているJ-ALERTの自動起動機のメーカーサポート期間が終了し、故障時の修繕ができなくなることから、サポートの終了する令和3年9月末までに更新するもの。

5 FMアンテナ設置補助 0千円

【概要】  
FM難聴世帯における受信環境の改善を図るため、FM用屋外アンテナの設置世帯に補助金を交付する。(1/2補助、補助限度額@25千円×4件)

6 災害時の対応 117千円

指定緊急避難場所(文化会館)開設時ボイラー運転業務 33千円

【概要】  
避難準備情報発令時等、指定緊急避難場所を開設時にボイラー運転業務を委託する。

避難者用食材 84千円

【概要】  
避難準備情報発令時等、指定緊急避難場所を開設時、避難者に食材を提供する。

7 LPガス非常用発電機ガスバルク用調整器交換業務 103千円

【概要】  
好地振興センター及び東和給食センターに設置している非常用発電機のガスバルク用調整器がR3.11に有効期限を迎えることから更新するもの。

8 地域振興無線機の更新(4台) 1,098千円

【概要】  
指定緊急避難場所に設置している地域振興無線機(携帯型)の交換用バッテリーの生産が終了したことから、バッテリーの予備(47個)による交換が可能な期間内に無線機を更新するもの。(42台/4台)

事業手法の詳細 3

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	01	01	184010	自然災害防止対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	2,000		2,000
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	1,900		1,900
	その他	0	0		0
	一般財源	0	100		100

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和3年度	～	令和10年度
------	-------	------	-------	---	--------

部重点施策における目標
水害など自然災害防止のための対策を進める

事業開始の背景・経緯

事業概要
岩手県単独急傾斜地崩壊対策事業への負担金 2,000千円

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	
------	-----------------	------	--

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
----------

県単独急傾斜地崩壊対策対策事業負担金 2,000千円(R3新規)

(箇所名) 大迫町上町地区

(延長) 230m

(高さ) 8～17m

(工種) ひび割れ、剥離等の対策 繊維補強モルタル吹付工(2,630㎡)  
吹付背面地山の風化対策 現場打ち吹付法砕工(310㎡)

(事業期間) R3～R10

(総事業費) 300,000千円

(R3市負担金) R3事業費20,000千円×10% = 2,000千円  
負担割合10%の根拠  
平成8年5月10日付け建設省河傾発第10号  
「急傾斜地崩壊対策事業及び災害関連急傾斜地崩壊対策事業予算の執行について」

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	03	01	184190	河川排水路改修事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		298,265	362,059		63,794
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	265,400	337,400		72,000
	その他	0	0		0
	一般財源	32,865	24,659		-8,206

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和5年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
水害など自然災害防止のための対策を進める。

事業開始の背景・経緯
水害防止、河川・排水路の環境整備のため、改修工事を実施すると共に、各地域からの要望に基づき、改修事業を展開している。

事業概要
河川排水路改修事業（繰越明許費）56,277千円 河川排水路改修事業 305,782千円

担当部署	16200000 建設部 道路	担当課長	重茂 猛
------	-----------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
<p>【令和2年度 令和3年度繰越事業】 河川排水路改修事業 事業費 56,277千円（地方債:56,200千円、一般財源:77千円）</p> <p>（1）河川排水路改修工事 56,277千円 湯沢野排水路</p> <p>【令和3年度現年事業】 河川排水路改修事業 事業費 305,782千円（地方債:281,200千円、一般財源:24,582千円）</p> <p>（1）河川排水路改修設計等 37,441千円 （二枚橋排水路、大沢口川、湯本地区排水路、川原町排水路、山下川高松川、花南地区排水路）</p> <p>（2）河川排水路改修工事 239,248千円 （雀田川排水路、二枚橋排水路、大沢口川、湯本地区排水路、上沢川山下川、後通排水路、薬師神社西側排水路、金ヤ地区排水路）</p> <p>（3）用地取得 2,426千円 （川原町排水路、山下川）</p> <p>（4）河川浚渫業務委託 26,667千円 （枇杷沢川、宇南川、後川、滝沢川、高松川、大上川、黒森川、姉市川間木沢川、鳴沢川、山口川）</p> <p>【令和3年度 令和4年度繰越事業】 河川排水路改修事業 事業費 13,550千円（地方債:12,800千円、一般財源:750千円）</p> <p>（1）河川排水路改修工事 13,550千円 上沢川</p>

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	08	04	01	184270	宅地耐震化推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		7,497	8,847		1,350
財源内訳	国費	3,748	4,424		676
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,749	4,423		674

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~		
------	-------	------	---	--	--

部重点施策における目標

水害など自然災害防止のための対策を進める

事業開始の背景・経緯

阪神淡路大震災・新潟県中越地震・東日本大震災の大震災時に大規模盛土造成地の崩壊により住宅が流出する被害が出ていることから、大規模盛土の被害軽減のため、全国的に変動予測調査の実施・結果公表や滑動崩落防止事業が推進されている

事業概要

大規模盛土造成地の変動予測調査 8,847千円  
第二次スクリーニング(地盤調査、安定計算等)

担当部署	16100000 建設部 都市政策	担当課長	澤田利徳
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細 1

大規模盛土造成地の変動予測調査 8,847千円  
第二次スクリーニング(地盤調査、安定計算等)

大規模盛土造成地  
(1) 谷埋め型 盛土面積が3,000㎡以上  
(2) 腹付け型 盛土する前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上で、かつ、盛土の高さが5メートル以上

H30-R元 国ガイドラインに基づき、市内の大規模盛土造成地を抽出

大規模盛土 19か所(A4:4か所、B1:4か所、B2:11か所)

【優先度】

A1・A2・A3・A4・B1・B2・B3・B4・C  
(高) (低)

R2-4 詳細調査必要箇所を第二次スクリーニング

R2 高木団地の一部  
R3 東和中学校周辺  
R4~ 星が丘一丁目・二丁目地内

R3以降 調査結果によっては 大規模盛土造成地滑動崩落防止事業(対策工事)が必要となる